

植物の葉の
「化石のモデル」

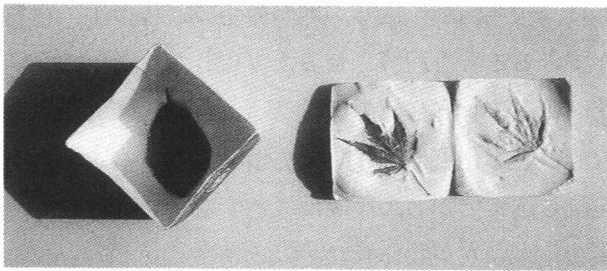
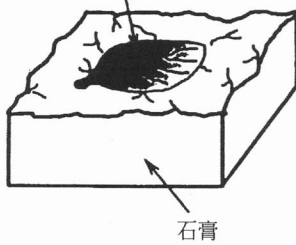


図4 化石のでき方のモデル

(2) 作業活動

「化石からたどる地球の歴史」の学習のまとめの段階で、「古生代(中生代・新生代)ワールドをつくろう!」という作業活動を取り入れた授業を実施した。

この作業活動は、次のような内容である。

- 過去に生息した動植物(教科書に記載があるもの)の絵が描かれたカードと、各時代名が印刷されている台紙を準備し、各グループに配付する。

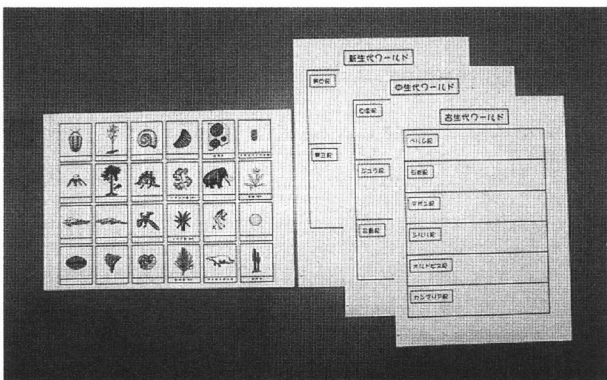


図5 カードと台紙

- グループで話し合いながら、カードに描かれた動植物について、名前や生存していた時代を考える。そして、それを各時代名が印刷されている台

紙に並べる。



図6 グループでの話し合いの様子

- 各グループの代表者が、話し合った結果を、マグネット付きの大きなカードを使って発表する。

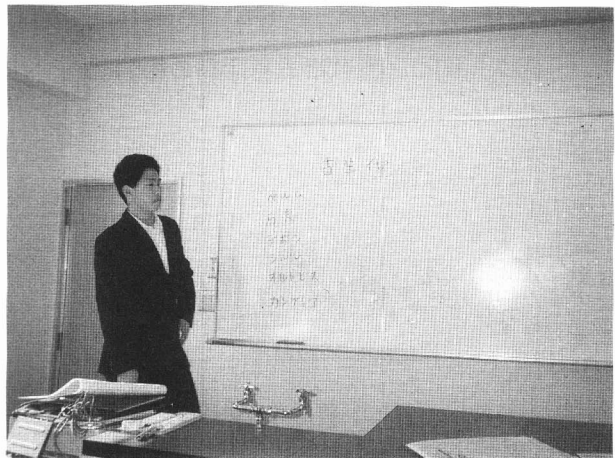


図7 代表者による発表の様子

- 最後に、教師は、生徒の意見を聞きながら、まとめを行う。

(3) T・Tの実施

上記の(1)と(2)の実施にあたっては、クラス全体を一斉に指導する教師と、5～6人のグループを指導する教師に分かれてT・Tを実施した。その際、生徒が疑問に思ったり、つまづいたりしているときには、その場ですぐに支援するように心掛けた。

また、普段の授業の中でも、個人学習やグループ学習をできるだけ取り入れ、思考する場を多く設定するとともに、考えるための十分な時間を確保するように配慮した。